

# ま え が き

千葉県内 54 市町村の平成 25 年度決算は、国の緊急経済対策への対応により、平成 24 年度決算と比べて歳入歳出ともに増加し、過去最高の決算規模となりました。

歳入では景気の回復基調を受けて市町村税や税交付金等が増加し、2 年ぶりに一般財源は増加するとともに、新設の地域の元気臨時交付金などの国庫支出金の大幅な増により、総額は 5 年連続の増加となりました。

歳出は、給与削減等により人件費が減少したものの扶助費の増加が上回ったことから、義務的経費が 2 年ぶりの増加となりました。また防災対策等に係る普通建設事業費が大幅に増加したことから投資的経費は 3 年連続の増加となり、総額は 5 年連続の増加となりました。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、前年度に比べ 1.1 ポイント減少し、89.1%となり、2 年ぶりに 90%を下回り、財政構造の弾力性に改善が見られました。

また、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成 25 年度決算に基づく健全化判断比率の 4 つの指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）を県内市町村において算定したところ、全ての市町村でいずれの指標においても早期健全化基準を下回りました。

しかしながら、各市町村は、東日本大震災からの復興、地方創生への対応、防災対策、公共施設の老朽化対策、社会保障関係経費の増加への対応など、多くの行政課題に直面しています。

こうした課題に適切に対応し、持続可能な財政運営を維持・確保するためには、まずは各市町村が自らの財政状況を正確に把握・分析し、財政運営の見通しを明確にしたうえで、住民の理解と納得のもと、徹底した行財政改革に取り組むことが重要です。

本書は、「平成 25 年度地方財政状況調査（決算統計）」の調査結果をもとに県内市町村の普通会計決算等を取りまとめたものです。本書所収の資料や財政分析が、各市町村の財政運営に資するとともに、住民の皆様の地方財政に対する理解を深める一助としていただければ幸いです。

平成 27 年 4 月

千葉県総務部市町村課